情報文化学会　ニューズレター

No.79

2026. 10.29

担当：広報・編集・辻本篤

発行：情報文化学会

JICS

*Japan Information - Culturology Society*

ホーム・ページ: http://jouhou-bunka.jp/

**第 34 回全国大会・開催のご連絡（2026 年 10 月 31 日(土)）**

第 34 回全国大会は **2026 年 10 月 31 日(土)**、ZOOM によるオンラインで実施いたします。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。　＊大会参加費は無料です。

午前の部（昼休みまで）

・アクセスコードは、前日までに、jics.taikai@gmail.com にお問い合わせください。

午後の部（昼休み後）

・アクセスコードは、前日までに、jics.taikai@gmail.com にお問い合わせください。

■「午前の部」（昼休み前）と「午後の部」（昼休み後）の 2 つのアクセスコードをお伝 えします。昼休みに「午前の部」のミーティングを閉じます。

■ 昼休み以後、「午後の部」のアクセスコードでアクセスしていただきます。

■ 当日、それぞれ 15 分前から部屋は開いております。

■ 参加にあたっては、「マイク」と「ビデオ」はミュートに設定し、発言および発表時の み「マイク」のミュートを解除して下さい。

**9:15～　：受付開始**

**9:30～9:40：開会挨拶等**

**＊各セッションでの発表時間：　ひとり計 23 分（発表 18 分、質疑 5 分、交代 1 分）**

**9:41～11:13：　第 1 セッション**　　座長：未定

**テーマ：「人口動態と世代の実態」**

| 発表者 | 発表者所属 | 発表題目 |
|---|---|---|
| Chan Myae Khin<br>符儒徳 | 開智国際大学国際教養学部 | 情報文化三系モデルによる少子化の社会的要因の再整理 ―情報文化の変容とソーシャル・キャピタルに着目して |
| 荒川清晟 | 西宮市 | 都市における転居行動の分析 |
| 小西凌 | 三重大学大学院地域イノベーション学研究科 協力研 | 量的調査票における若者の世帯収入項目の「わからない」「無回答」に関する分析 |

| | | |
|---|---|---|
| | 究員 | |
| 田中大喜、森田佳乃子、堀涼、銭本友樹、井上愛子、林尊弘、東中竜一郎、遠藤守、浦田真由 | 田中大喜、森田佳乃子（以上、名古屋大学大学院情報学研究科）<br>堀涼 （椙山女学園大学人間学・ジェンダー研究センター） 銭本友樹（名古屋大学大学院情報学研究科）<br>井上愛子（名古屋大学未来社会創造機構 予防早期医療創生センター）<br>林尊弘（愛知医療学院大学リハビリテーション学部）<br>東中竜一郎、遠藤守、浦田真由（以上、名古屋大学大学院 情報学研究科） | ウェアラブルデータと生成 AI 対話による高齢者の健康行動支援 |

11:23～12:50： **第 2 セッション** 座長：未定

**テーマ：「デジタル化と組織・制度の対応」**

| 発表者 | 発表者所属 | 発表題目 |
|---|---|---|
| 本田正美 | 関東学院大学 | 府省等の Web サイト運用における CDN 利用の現状 |
| 大嶋 淳俊 | 宇都宮大学データサイエンス経営学部・大学院地域創生 科学研究科 | AI・DX 時代における企業の戦略的人材成長基盤 —生成 AI 活用をめぐる人材育成・組織支援の理論的検討 |
| 村舘靖之 | 茨城大学人文社会科学分野 | 制度＝時空の不均衡動学モデルに関する一考察 |
| 外村奏太、森田佳乃子、堀涼、浦田真由、遠藤守 | 外村奏太（名古屋大学大学院情報学研究科）、森田佳乃子（名古屋大学大学院情報学研究科）<br>堀涼（椙山女学園大学人間学・ジェンダー研究 センター）<br>浦田真由、遠藤守（以上、名古屋大学大学院情報学 | 地域の高校生によるデジタル相談会の実施方法の考察 ～複数地域での実践を通じた比較検討～ |

| | | |
|---|---|---|
| | 研究科） | |

12:50～14:00　**昼休み**

14:00～14:30　**総会**　議長：辻本篤 会長　司会：遠山茂樹 総務委員会 委員長

14:40～16:10：　**パネルセッション**　座長：大井奈美（山梨英和大学）

コメンテーター：安藤元博（大妻女子大学）

**テーマ：「感性および創造性と情報文化学 － 基礎情報学における意味や価値に基づく考察」**

| | 発表者（所属） | 発表題目 |
|---|---|---|
| | 原島大輔（立教大学）<br>西田洋平（東海大学）<br>椋本輔（デザイン事務所代表・立命館大学他） | 【原島】感性について（大井奈美・原島大輔編『基礎情報学のポイエーシス：感性と創造性 について』東京大学出版会、2026年、第1部に基づいて）<br>【西田】創造性について（同書第2部に基づいて）<br>【椋本】感性と創造性をめぐる 応用研究について（同書第3部に基づいて） |

16:20～17:29：　**午後セッション**　座長：稲垣秀人（東京大学大学院教育学研究科）

**テーマ：「文化の継承と創造」**

| 発表者 | 発表者所属 | 発表題目 |
|---|---|---|
| 立石祥子 | 情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科 | 科学館と芸術はいかに関わるのか —展示・教育実践の境界をめぐって— |
| 甕佳代子 | 城西国際大学メディア学部 | 地域文化の活性と継承におけるメディアの役割～富山県上市町の事例から |
| 山田雅敏、酒井郷平、澁谷和樹、小豆川裕子、望月たけ美 | 常葉大学 | 伝統芸能の対話型 AI 教材による郷土愛の醸成と継承循環モデルの構築に関する構想 |

17:30～17:40：　**閉会挨拶**　辻本篤 会長 （全国大会 実行委員長）

以 上